

平成 15 年度 特色 GP

医療者(専門職業職者)育成のための学習評価システム

概要

評価とは学生へのメッセージである。評価というフィードバックを通じ、学生は大学が決めたスクールミッションで求められる能力を獲得していく。従来の教育システムでは、科目担当者が学生を教え、試験を作り、採点し、合否判定を行ってきた。この教育の密室性（教育者＝評価者）と科目の独立性が大学での一貫教育を妨げてきた。本学の統合カリキュラムでは、教育実施組織と評価組織を完全に分けることで、教育者≠評価者のシステムを採用している（総合試験システム）。このシステムでは教育者がどれだけの成果を学生に与えたかを大学が評価することで、教育者の教育責任の明確化を行い、さらに試験問題をデータベースとして大学が一元管理することで、6年一貫のカリキュラム全体を管理することが可能となった。医療者をはじめ専門職業職者の教育では、各科目、各学年での学生の能力の着実な積み上げが必要である（構造化されたカリキュラム）。本学の取組は、責任あるカリキュラム管理の実践の具体例である。